



思川だより



令和2年10月21日 第74号

工事の状況

工事の状況は思川開発建設所HPからもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/kouji/index.htm>

令和2年10月末現在、当建設所では付替県道・林道の新設工事9件、ダム本体の準備工事1件、導水施設工事2件を施工しています。

付替県道工事では、付替県道3号トンネル工事(延長192m)、付替県道5号トンネル工事(延長173m)を施工しており、9月2日に3号トンネルが、9月29日に5号トンネルが貫通しました。(写真-1)

トンネル工事は、山を掘削し土砂を搬出、掘ったトンネルが崩れないよう空間を支える「支保」(しほ)を設置し、掘削を進めていきます。

2つのトンネルは掘削面の状態が異なることから掘削方式も異なっており、3号トンネルでは火薬を使用し発破によって掘削する発破掘削方式、5号トンネルでは専用機械を用いて掘削する機械掘削方式によって掘削を進めました。今後、トンネル内面にコンクリートを打つ「覆工」(ふっこう)と呼ばれる作業を行った後、トンネル内の排水施設や照明設備の設置、路面のコンクリート舗装を行い、皆様がよく見かけるトンネルが完成します。

当建設所では、引き続き、環境対策や工事車両の通行などの安全対策に万全を期して参りますので、思川開発事業へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



R2.9.29撮影

写真-1 トンネル貫通の様子(5号トンネル工事)

ダムカードが完成！まもなく配布を開始する予定です

～「ダムサイト展望広場」から建設風景が望めます～

工事の本格化に併せ、南摩ダムのことをより知っていただき、水源地域へ足を運んでいただくため、ダムカードを作成しました。建設中の今だけの限定デザインです。南摩ダムカードは、ダムを訪れた方を対象にまもなく配布を開始する予定です。※詳細につきましては、思川開発HPをご確認ください。

ダムカードの配布開始に併せ、「ダムサイト展望広場」を一般開放します。ぜひ、日々変化していく南摩ダム完成までの姿をご覧ください。

(展望広場の所在につきましては、次頁の思川開発事業施設概要図をご覧ください。)

【ダムカード配布場所】

- ① 思川開発建設所(鹿沼市口栗野839-2、9:00～17:00、土日祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く)
- ② まちの駅 新・鹿沼宿(鹿沼市仲町1604-1、9:00～19:00、年中無休)

※ダム(建設現場)を見た証として、展望台などからデジタルカメラや携帯電話などで写真を撮影し、配布場所でご提示ください。

※ダムカードの配布はお一人様1枚です。



☆ダムカードとは、おもて面はダムの写真、うら面はダムの基本情報等を凝縮して記載した、ちいさなパンフレットのようなものです。おもて面に記載の記号等の見方は、機構HPよりチェックできます。

導水路を知ろう 2

思川開発事業では、南摩川流域と流域面積の大きい黒川及び大芦川流域の間に水融通をはかります。今回は、当建設所の職員が流域間の水の流れを視覚的にわかりやすく図示した施設概要図を作成しましたので、これを用いて導水路の水の流れをご紹介します！

思川開発事業施設概要図

【南摩ダム】
型 式：コンクリート表面直造型壩
ロックフィルダム
ダムの高さ：86.5m
ダムの体積：約240万m³
総貯水容量：5,100万m³
有効貯水容量：5,000万m³

【導水路】
荒川導水路：延長2.8km、最大過水量8m³/s
大戸川導水路：延長5.7km、最大過水量20m³/s

【送水路】
送水路：延長4.2km、最大過水量4.6m³/s

【付帯道路】
付帯横道：延長約6.4km
付帯林道：延長約2.4km

所久保取水工（設計中）

▽EL.258.0m 導水時立坑水位
▽EL.231.0m 南摩注水工最高水位
▽EL.229.0m 注水工逆流敷高
▽EL.180.0m ダム最低水位

CA = 12.4km²

N.W.L. 227.9m
L.W.L. 180.0m

▽EL.236.5m ダム天端高（ダム高86.5m）
▽EL.163.1m 送水管敷高

南摩ダム
南摩揚水機場
大戸川
黒川

取水・放流工（過流式立坑）

RCセグメント又は合成セグメント

導水路断面図

取水・放流工（過流式立坑）

一般開放予定の「ダムサイト展望広場」はこちら！
アクセスは、Google Mapで『南摩ダム ダムサイト展望広場』と検索！

交通安全講習会を開催しました



講習会の様子

思川散策



＜思わず行きたくなる思川＞を発見する「思川散策」
鹿沼市久保町の掬翠園をピックアップ

今回は鹿沼市役所からほど近い鹿沼市旧市街（鹿沼市銀座一丁目）にある掬翠園（きくすいえん）を訪ねました。掬翠園は、鹿沼屈指の麻商であった故長谷川唯一郎氏が造営したものであり、当時、松華園、村山晃南荘と並んで、鹿沼の三名園と言われ、唯一現存する庭園です。庭園は、奇石や灯籠が配され、泉池や古木群と共に深山幽谷の趣を感じさせてくれます。北関東では珍しい枯山水庭園で、ゆっくりと散策しても10分とかからないコンパクトな庭園です。

紅葉の名所としても有名で、特に11月下旬から12月初旬くらいが見頃となり、赤く染まったモミジが庭園を彩ります。



庭園内の風景（R2.10撮影）

再発見！鹿沼の魅力（第17回）

【とちぎの宝を見に行こう】

今回は、奈良時代の創建との伝承がある東高野山医王寺に伝わる数多くの貴重な宝物が、特別に公開されますのでご案内いたします。医王寺は、弘法大師ゆかりの寺「東高野山」と呼ばれています。広大な境内（3万坪）には金堂・唐門・弘法大師堂・講堂・客殿など、栃木県指定文化財の壮大な建物が立ち並んでいます。医王寺には講堂に秘仏とされている薬師如来座像（非公開）と金堂本尊の薬師如来と両脇侍像が、人々の病の苦しみから救済する仏として古くから厚い信仰を集めています。また、疫病平癒の功德をもたらす観音として十一面観音菩薩像が、奉られています。

今回この医王寺の至宝を鹿沼市、鹿沼市教育委員会、とちぎの宝医王寺展実行委員会が、「鹿沼まるごと博物館」第6回企画展として、県指定文化財の仏像のほぼすべてを金堂に安置し、講堂では絵画、工芸、古文書などを一般公開します。栃木県立博物館に寄託している仏像等も里帰りますので、是非、この機会にとちぎのお宝をご覧になり、コロナ禍を平癒してくれるよう祈ってみてはいかがでしょうか。

詳しくは、鹿沼市のHPをご覧ください。<https://www.city.kanuma.tochigi.jp/>



薬師如来像

鎌倉時代 医王寺



吉祥天立像・毘沙門天立像

鎌倉時代 医王寺

（栃木県立博物館寄託）

- 会場 東高野山医王寺
- 所在地 鹿沼市北半田1250（鹿沼ICから車で約20分）
- 期間 令和2年10月31日から11月8日
- 観覧時間 9時30分から16時30分まで（入場は16時まで）
- 入館料 500円



チップ材の利活用について（無料配布）

思川開発建設所では、資源の有効利用やコスト削減の観点から、工事により発生した伐採木をウッドチップに加工し、利活用する取り組みを試行的に行っています。ご利用を希望の方に申込書をお配りしていますので、思川開発HP（<https://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm>）をご確認ください。配布は30kg米袋をお1人様10袋までです。（それ以上の数量を希望される方は別途ご相談ください。）

なお、受け渡しに際しての調整やアンケートの記入をお願いしていますので、ご協力をお願いします。

思川開発建設所 道路工事課 チップ材担当 Tel0289-85-1183



チップ材（1袋分）

上南摩の動植物 “カジカ大卵型”



- 和名:カジカ大卵型 ○学名:*Cottus pollux*
- 科名:カサゴ目 カジカ科
- 分布:栃木県内では、鬼怒川、那珂川、渡良瀬川の本支流の上・中流に生息している。
- 環境省:準絶滅危惧
- 栃木県:要注目

山間溪流あるいは中間溪流の、身を隠す空間が確保できる瀬を好んで生息しています。肉食性で、主に水生昆虫を食べますが、落下昆虫や小魚も捕食します。

一般に雄は雌よりも大きく、雌が浮石の下面に卵塊を産み、その後孵化するまで雄が保護します。

今年は、事業用地内の沢に生息しているのを確認しました。

(出典:レッドデータブックとちぎ 2018 改訂版)



カジカ大卵型



カジカ大卵型の卵塊

下野かるたより

栃木県内の地元かるたを用いて、様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。引き続き、『下野かるた』(栃木県文化協会発行)からの紹介です。

< 楼門が木幡のほこり >

八世紀の延暦年間に、蝦夷を平定した坂上田村麻呂が戦勝を感謝して、矢板市木幡に創建したという木幡神社。本殿、楼門は栃木県最古の神社建築で、いずれも国の重要文化財に指定されていて、とくに楼門は「一間一戸」と呼ばれる建築様式で関東地方では珍しいものです。

「百物揃武者行列渡卸」を氏子が奉仕する秋季例大祭は、楼門とともに地元の人たちの誇りとなっています。



編集後記

めっきり涼しい日が続くようになり、秋を肌で感じる季節になりました。秋と言えばやっぱり食欲の秋！鹿沼の秋の味覚で真っ先に思い浮かんだのが「新そば」でした。そば好きとしていろいろお店を食べ歩きたいものです。これからより一層寒い時期がやってきますので、皆様体調管理にはお気を付けください。

お知らせ

▼見学会の実施や工事状況等の詳細については、お電話またはHPをご覧ください！

(※見学会について、鹿沼市在住・在勤の方を対象として受付を再開しております。)

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289) 85-1110 Fax (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm>

思川開発

検索

